

2009/Summer

和's YAMATO

わす やまと

特 集 日本・歴史の舞台
直江兼続ゆかりの長岡・上越を訪ねる

お 客 様 介 紹 ●社会福祉法人長岡三古老人福祉会 様
コンパクトシティ桜ガーデンプレイス福住
●(株)サンフジ企画 様 宮沢湖温泉喜楽里別邸

名水探訪 群馬県 箱島湧水



日本・歴史の舞台

直江兼続ゆかりの長岡・上越を訪ねる

Nagaoka

Jouetsu

二〇〇九年のNHK大河ドラマの舞台となった新潟県。
主人公の直江兼続の生涯や戦国の世での活躍などを紹介します。

天下分け目

1600



兼続の甲冑。兜の前だてに「愛」の字がついている。領民や臣下に対する「仁愛」の精神を象徴したものという説がある。
(長岡市与板町・「兼続・お船ミュージアム」蔵)

下剋上という乱世の中、私利私欲に走らず、主君・家臣への「愛」と「義」に生きたのが、戦国の智将・直江兼続である。

「国の成り立つは民の成り立ちをもつてす」を理想とした兼続は、冷静にして時には大胆な知略を用い、天下を統一した徳川家康をも恐れさせる名軍師でもあった。

兼続の主君・上杉景勝は、上杉謙信の実姉・仙桃院の子で、後に謙信の養子となっている。兼続・景勝は謙信の「義」を重んじる施政を受け継ぎ、越後の安泰を守るために戦いはしたが、領土拡大を目的とする戦はしなかった。

直江兼続の生涯

兼続は永禄3年(1560)、桶狭間(おけはざま)の戦いがあつた年に、坂戸城主・長尾政景(まさかげ)の家臣・樋口兼豊(かねとよ)の長男として、現在の新潟県南魚沼市に生まれた。その幼名は与六(よろく)。下級武士の子でありながら、幼少時から聡明さを発揮し、長尾政景の子・景勝(かげかつ)の近習(主君のそば近くに仕える役)となる。

天正9年(1581)、与板城主である直江信綱が内輪もめの余波で殺害される事件が起こると、景勝は「直江」という名家の断絶を惜しみ、兼続を亡くなった信綱の妻・お船(おせん)と結婚させた。この時、兼続22歳、お船25歳。お船は上杉家執政として奔走する夫を陰で支え、二人は終生仲睦まじい夫婦であったという。

直江兼続は、直属の家臣団・与板衆(よいたしゅう)を中心に、治水事業や産業振興を推し進め、城下町与板の基礎を築き上げた。与板地域の



与板歴史民俗資料館前にある直江兼続像。右手に巻物を握り、左手を刀に添えており、文武両道を現わしている。

伝統工芸品「打ち刃物」は、兼続の時代頃に、その起源があると伝えられている。
才気に長けた兼続は、主君上杉景勝とは、酒席を共にし盃を酌みかわすほどの親密な仲であったという。上杉家文書には、「兼続は上杉家の舵取りを任せられる大きな器の持ち主」と記され、景勝から絶大な信頼を得ていたことがうかがえる。
天正16年（1588）、兼続は関白太政大臣豊臣秀吉から、「豊臣」姓を授かる。時の権力者秀吉も、兼続を「天下の治世を任せられる人物」と絶賛したといわれている。

また兼続は、景勝の上洛に伴い京都に滞在。臨濟宗妙心寺の長老南化玄興（なかげんこう）や、秀吉のブレーン・西笑承兌（せいしょうじょうたい）らの学僧とも親交があり、漢詩や俳句を嗜む文化人としての側面を併せ持っていた。

直江兼続と上越・春日山城

直江兼続は15の年に、上杉謙信の養子となった景勝に従い、上越の春日山城に入った。

毘沙門天信仰で知られる上杉謙信は、

石に移封されると、兼続は家臣としては別格の米沢6万石を任されている。

豊臣政権が滅び、徳川時代を迎えた後、景勝は家康から謀反の疑いをかけられる。しかし、天下人家康からの詰問状にも、臆することなく理をもって堂々と反論。その書状は世にいう「直江状」として知られている。上杉家が米沢に減封されてからも、兼続は君主、領民のために生涯力を注いだ。

元和5年（1619）、兼続が江戸の屋敷で60年の生涯を閉じると、米沢藩の領民をはじめ、多くの人々がその死を悼んだと、上杉家の記録は伝えている。



春日山城のふもとにある「謙信公出陣 御前清水」。龍の口から清水があふれ出ており、謙信が出陣の際に立ち寄ったという。

「越後の龍」と恐れられた、戦国動乱の世の猛将である。しかし一方では「心に我儘なき時は愛敬失わず」「心に欲無き時は義理を行う」などの家訓を残した聖将としても名高い。

兼続は謙信より「義」の尊さを学び、国を豊かにすることが領民の幸福につながるといふ、謙信が目指した理想国家づくりを実践していくことになる。

謙信の死後、その後継者争いで、景勝と北条家からきた養子・景虎が衝突した「御館（おたて）の乱」が起こった。この戦で景勝が勝利し、兼続は上杉家家臣団の主要な地位を占めることになる。「御館の乱」は、謙信が越後の領国を景勝に相続しようとしていたが、野心を持った景虎が領主の地位を狙ったため起きたともいわれている。兼続にとつてその戦いは、まさに謙信から教えを受けた「義」の戦だったのかもしれない。

兼続は、家督争いの混乱が続く中、領民

の平和な暮らしを取り戻すためには、戦いも辞さずの姿勢を持つ、軍略にも長けた武将であった。

春日山城は標高180メートル、本丸跡からは雄大な頸城（くびき）平野が眼下に広がる。越後の領地を睥睨し、空堀、土塁など敵が攻撃しにくい仕掛けを随所に持ち、当時は名城として天下にその名を轟かせていたという。

また、春日山城には、上杉家が経営する金山から産出された黄金の金蔵（かねぐら）としての役割があり、越後の村上、佐渡など金山の管理に兼続直属の家臣・与板衆があたっていた。兼続は上杉家の主要な財産を掌握しており、慶長3年（1598）全国から豊臣秀吉に献上したとされる黄金約3400枚（1枚は約170g）のうち約6割は上杉家が納めたものだったといわれる。



「越後の龍」の異名を持つ、上杉謙信の像。春日山城の参道脇に建つ。

戦国の世にありながらも、「愛」と「義」を貫く背景には、こうした盤石な経済力があつたことがうかがえる。春日山城は富と権力の象徴であると同時に、領民の豊かな生活を守る大いなる砦でもあつた。

下が上を蹴落とし、子が親さえも討つ戦国の世にあつて、兼統は春日城で君主を支え、領民の幸福を願いながら、「義」と経済を両立させる政治を実践した。

直江兼統と長岡・与板衆

御館の乱で景勝を勝利に導いた兼統は、上杉家の家臣の中でトップの座に昇り詰める。また、家臣団きつての名門である直江家に婿入りし、お船と結婚し、直江家が収めていた与板の城主となつた。

上杉景勝の執政として、財政・外交・軍事の全般を司る多忙な兼統を支え、実務



春日山城三ノ丸跡。春日山城は標高180mの鉢ヶ峯山頂の本丸から山裾まで、山容を巧みに利用して二の丸・三の丸や屋敷群を連続して構築。石垣を用いず、自然の起伏を活かした空堀や土塁で防御を固めている。

春日山神社。山形県米沢市の上杉神社から分霊された謙信公を祭神とし、1901年明治34年に創建される。



を担当したのが、兼統直属の家臣団である与板衆だつた。

当時の記録によれば、兼統は上杉家の家臣団の中で最高の、5万石という知行高（ちぎょうだか）を与えられ、与板衆121名を配下に従えていた。

与板衆は直江家代々の家臣を中心に他国出身者や寺院などで構成され、与板をはじめ、三島・和島・寺泊などに拠点を持つていたことが知られている。

さらに佐渡・庄内など、拡大した領土の検地、徴税、知行などの民政も兼統とともに担当した。

与板衆は景勝の直臣（じきしん）らと同格の重要任務に従事することもあり、兼

統の地位向上を背景にして、政権内の重要な任務を担った。当時、兼統の仕事を実践する実働部隊としての与板衆の活躍はめざましいものであつた。

兼統の妻・お船

戦国の世を兼統とともに歩んだお船は、与板城主・直江景綱の娘として生まれた。

上野国総社（こうずけのくにそうじや）（現在の前橋市）の長尾家から直江家に婿入りした信綱と結婚したお船だが、夫・信綱は御館の乱のもつれから殺されてしまふ。

その後、名門直江家の断絶を惜しんだ上杉景勝の命により、直江家を相続することになった兼統と再婚。この時、お船は兼統より三歳上の25歳といわれ、以降、姉さん女房として、上杉家執政の夫を生涯支え続けた。二人は1男2女の子宝にも恵まれ、兼統は生涯側室を持たなかったといわれる。

お船は、兼統が亡くなってから18年後の寛永14年（1637）、この世を去る。

米沢藩の記録には、お船は「兼統卒（そつ）シテ後、国政ヲ与（あず）かり聞ク故ニ、群臣之崇敬（ぐんしんのすうけい）他ニ異ナル也」（兼統が亡くなった後も藩政に関する相談を受け、上杉家家臣の尊敬を集めていた）とある。賢妻お船は3千石の領地も与えられており、関ヶ原の戦い後に大きく減封された上杉家を兼統亡き後も、

支えていたことがうかがえる。

お船の葬儀は、家臣の妻という立場でありながら、当時としては異例の「藩葬」と同様の扱いで行われた。墓所は米沢市の林泉寺にあり、今も兼統と並んで眠つてゐる。

直江兼統の魅力

戦国武将には、勇猛果敢、策略に通じるも、礼節を重んじ高潔という印象が強い。

しかし、直江兼統は、そうした画一的な武将像にはあてはまらない。兼統の社会の捉え方には、上杉謙信の多大なる影響があつた。春日山城の毘沙門天に籠り、熱心に祈禱を行つた謙信には、時として神像は経済に精通し、私利私欲を捨て常に



＜春日山城のジオラマ＞

春日山城の山麓には、総延長1.2kmにも及ぶ堀（監物堀）と土塁をめぐらしてある。春日山城跡には、空堀や土塁、曲輪跡など往時の名残りを良くとどめ、戦国大名の居城にふさわしい大城郭跡として、国の史跡に指定されている。

公のために生きる道を模索する人物だったといわれる。兼続は義の思想を掲げ生きる謙信に学び、さらに深く経済と義を両立させる政治を実践した。

上杉家は上方との海上交通により莫大な富をつくり、越後はその恩恵を受けて経済発展を遂げた。京都中心ではなく、地方に強力な政治体制と経済圏を構築し、「愛」と「義」による統治を行ったところに、名臣・直江兼続が傑出した人物として現代にも尊敬を集める所以がある。



林泉寺にある謙信公御墓所。戦国きつての名将の墓らしく、年代を経てもなお風格をとどめている。



謙信の墓がある林泉寺の山門。謙信の揮毫による「第二義」「春日山」の大額が掲げられていたといわれる。現在の山門は、大正時代に再建された。

直江兼続 | 関連年表

- 1555(弘治1年) 上杉景勝が誕生 父は坂戸城主の長尾政景、母は上杉謙信の姉の仙洞(桃)院
- 1560(永禄3年) 直江兼続が越後坂戸城下(新潟県南魚沼市)で誕生 父は長尾政景の家臣樋口惣衛門
- 1578(天正6年) 謙信が春日山城で死去。御館の乱勃発
- 1579(天正7年) 景虎が自刃、景勝が上杉家の後継者となる。
- 1581(天正9年) 兼続がお船と結婚し、直江家を継いで与板城主となる。
織田信長が上杉家攻略のため景勝の家臣・新発田重家に誘いをかけ反乱勃発
- 1582(天正10年) 信長の軍勢が越後に侵攻、本能寺の変で信長が死去
- 1586(天正14年) 景勝・兼続が上洛し豊臣秀吉に臣従する。
- 1592(文禄1年) 秀吉による朝鮮出兵・文禄の役に景勝・兼続が従軍
- 1598(慶長3年) 景勝が秀吉から会津120万石への国替を命じられる。兼続は米沢6万石を領す。秀吉が死去
- 1600(慶長5年) 徳川家康から謀反の嫌疑をかけられ、それに反論し兼続が「直江状」を出す。
家康は上杉討伐に出陣するが、石田光成の挙兵を知り引き返す。関ヶ原の戦い。
- 1601(慶長6年) 景勝が家康によって米沢30万石に減封される。
- 1603(慶長8年) 家康が徳川幕府を開く。
- 1614(慶長19年) 大阪冬の陣に家康方として景勝・兼続が従軍
- 1616(元和2年) 家康が死去
- 1619(元和5年) 兼続が死去
- 1623(元和9年) 景勝が死去

参考資料 天地人をめぐる旅／新潟日報社 発行
Text/Naoya Kinoshita Photo/Keisuke Suzuki, Naoya Kinoshita

新潟県長岡市で コンパクトシティ桜ガーデンプレイス福住新築工事が完了



ゆったりとした共有スペースが各階に設けられています。



コンパクトシティ桜ガーデンプレイス福住

コンパクトシティ桜ガーデンプレイス福住新築工事(工事名称:地域密着型複合施設福住新築工事)が、平成21年6月15日に完了しました。

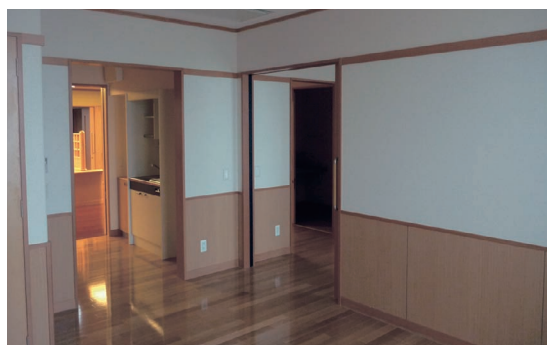
本工事は地元の越後交通工業(株)様より受注し、当社は空調換気、電気(計装)の施工を担当。電力消費量の削減、電力負荷平準化による省エネ効果を発揮する大温度差蓄熱空調システムを、新潟県で初導入となりました。

この施設は、「福が住む街づくり」をコンセプトに、長岡駅から徒歩約5分の中心市街地ならではの利便性や、社会福祉法人として27年にわたり積み重ねてきた高齢者ケアの確かな実績により「人に優しい介護」を目指しています。

施主の社会福祉法人長岡三古老人福祉会様は、長岡市を中心に施設系・在宅系サービスを69カ所の事業所で提供しており、バイオディーゼル燃料の活用など、エコ活動にも積極的に取り組んでいます。



1階は企業内保育園で、子供たちとの交流ができ、和やかな日々が過ごせます。



3階から6階は個室の居室があり、落ち着いた雰囲気です。

工事概要

工 事 名 称 (仮称) 地域密着型複合施設福住新築工事
施 工 場 所 新潟県長岡市福住
施 主 社会福祉法人 長岡三古老人福祉会
発 注 者 越後交通工業(株)
設 計 監 理 (株) 細貝建築事務所

工 期 平成20年8月20日～平成21年6月15日
用 途 老人福祉施設及び託児所
建 築 面 積 1520m²
延 べ 床 面 積 6220m²
構 造 RC造 地上6階



露天風呂からは、眼下に宮沢湖を望めます。



夜の露天風呂は情緒たっぷりです。(写真提供：(株) サンフジ企画 様)

美しい湖畔の温泉 宮沢湖温泉 喜楽里別邸がオープン

露天風呂はアルカリ性単純温泉のpH9.48で肌の角質をとる美肌効果があり、「美肌の湯」とも呼ばれています。温泉は白濁しており、いかにも効果がありそうで、実際に肌がツルツルになります。疲労回復、ストレス解消、健康増進などにも効き目があるそうです。

湯船からは宮沢湖と緑深い山々を眺めることができ、たっぷり満足感を味わえます。

内湯は人工炭酸泉を高濃度で再現しており、体内に取り込まれた炭酸ガスは全身の血管を拡張し、血液の循環を良くする効果があり、湯上がりにはなめらかで潤いのある肌になるそうです。お湯につかってみると、体に無数の気泡が付き、確かな美肌効果を実感できます。

この施設の温浴スペースには塩素臭が出ない超設備「ヤマトスーパークロリネーションシステム」が設置されているので、温泉の心地よさを妨げることがありません。

また環境面への配慮で省エネルギーシステムも取入れています。

2階には温熱房と岩盤浴があります。広々とした空間の温熱房は、中央に設置され高温に熱せられた火釜（ブルガマ）から遠赤外線が発せられるため、身体を芯まで温めてくれます。

食事処は地元・埼玉の食材を使ったビュッフェ形式で、種類・味とも申し分なく、景色を見ながらゆっくりと食事を楽しめます。



温熱房のモンゴル式火釜（ブルガマ）



露天風呂のオーバーフローは落し音がせせらぎのように聞こえ、癒されます。

癒しと安らぎを追求した温泉、おいしい食事、リラクゼーションは、訪れる方々の期待を裏切りません。是非皆様も足を運んでみてはいかがでしょうか。

アクセスマップ

埼玉県飯能市大字宮沢27-49（レイクサイドパーク宮沢湖内）



●入館料

	入館・入浴料（タオルセット込み）		岩盤浴入浴料（岩盤浴着・館内着付）	
	平日	土・休日・特定日	平日	土・休日・特定日
大人（中学生以上）	1,000円	1,000円	280円	380円
	800円（21時以降）	900円（21時以降）	280円（21時以降）	180円（21時以降）
子供（小学生）	840円	940円	利用できません	利用できません
	600円（21時以降）	700円（21時以降）	利用できません	利用できません

入館セット回数券・・・5,800円（5枚入り、1回分／入館料＋岩盤浴利用料）土・休日・特定日利用可、有効期限なし
小学生からご利用になります。

●営業時間／9:00～24:00（岩盤浴23:00まで）、最終受付／入浴・岩盤浴ともに23:00まで

名水探訪

第二回

箱島湧水

はこしまゆうすい
日本名水百選の水
群馬県吾妻郡

箱島湧水は、日本の名水百選にも選定されている名水である。

箱島不動尊が祀られている境内の大杉の根元からは、1日に約3万トンともいわれる豊富な清水が湧き出している。その周辺にはホテルが生息し、6月〜7月下旬ごろが見頃となる。

箱島湧水の伝説

「箱島湧水と榛名湖はつながっている、という伝説」

その昔、原町の善導寺に二世「円光上人」という僧がいた。ある日、木部宮内少輔の「北の方」(円光上人の母)が突然訪れ、二人はたわいないよまやま話をした。

実はこの時、「北の方」は怨敵に追われる身だった。切迫した状況を知り得ない円光上人は、母と何気なく別れたが、それは二人の永遠の別れだった。「北の方」は「息子に会えてもう思い残

すことはない」と榛名湖へ向かい、待女とともに入水して果ててしまった。

その後、榛名湖には大蛇が棲むという話を取り沙汰され、大蛇は「北の方」の化身だと思われるようになった。

そこで、供養のために、「北の方」の位牌を榛名湖へ沈めたところ、その位牌が、ここ箱島の湧水から出てきたという。

この位牌は、今もなお箱島不動尊に納められている。

(参考資料: 群馬県東吾妻町ホームページ)



箱島湧水



榛名湖



幻想的な光を放つゲンジボタル

アクセスマップ



Text/Naoya Kinoshita
Photo/Norio Ishimori

株式会社ヤマトPR誌
和's YAMATO 2009 summer/第1号 2009年7月発行(季刊・年4回発行)
発行/株式会社ヤマト(総務部) 群馬県前橋市古市町118
TEL 027-290-1891 FAX 027-290-1896 URL www.yamato-se.co.jp



支店/東京、埼玉、栃木、横浜、千葉、高崎
営業所/軽井沢、伊勢崎、茨城、太田、栃木市、湘南、東松山、新潟、長野
関連会社/大和メンテナンス株式会社 株式会社埼玉ヤマト 株式会社ヤマト・イズミテクノ ヤマト・イー・アール株式会社 大和ビジネスサービス株式会社

「和's YAMATO」の由来

ヤマトの漢字の和、Water & Airの頭文字を合わせてWA、SIはスタート、ヤマトが発信するメッセージです。

